

# ワゴン R

## EPS(電動パワーステアリング)自己診断要領

■適応車種:ワゴン R(MC11S/MC12S/MC21S/MC22S)

■適応年式:平成 10 年 10 月～

EPS(電動パワーステアリング)自己診断要領に関して記載しますので、参考にして下さい。

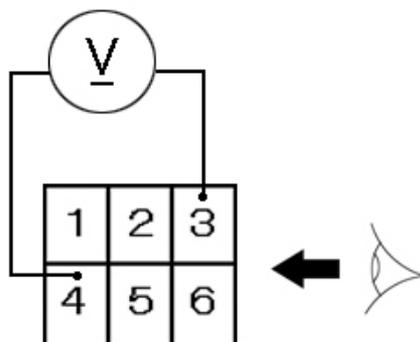
尚、この車両の EPS は故障診断機との通信機能が無い為、故障診断機による故障コードの読み出しは実行できません。

### 故障コードの表示

1. ダイアグカプラの3番端子と4番端子に電圧計を接続して下さい。

#### ※注意※

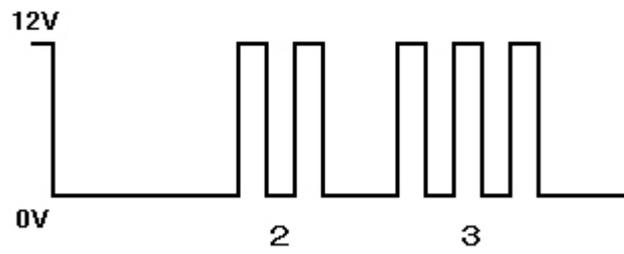
ダイアグカプラ(黒色6極)は助手席グローブボックス奥(グローブボックスは取り外して下さい)になります。



〈図:ダイアグカプラへ電圧計の接続〉

2. エンジンを始動して下さい。
3. 電圧計の振れによって故障コードを読み取って下さい。

故障コード23番の表示例:



〈図:故障コードの表示例〉

## 故障コード一覧表

故障コード	内容		フェールセーフ
12	正常		
11	トルクセンサ	メインセンサの特性不良、断線又は短絡	※1
13		メイン信号とサブ信号のずれが大きい	
14		センサ電源電圧(5V)の異常	
15		サブセンサの特性不良、断線又は短絡	
16		センサ電源電圧(8V)の異常	
21	車速センサ	・ エンジン回転数 2500rpm 以上 ・ 60 秒間、車速信号の入力が無い	※2
23		・ エンジン回転数 2500rpm 以上 ・ 30 秒間、車速信号の入力が無い ・ 3 回連続で発生	
24		・ 基準減速以上の減速を検出 ・ 5 秒間、車速信号の入力が無い	
22	点火信号	・ エンジン回転数検出回路の不良 ・ エンジン回転数が 400rpm 以下	
41	モータ	モータ回路系統の不良	※1
42			
43			
44			
45			
51	クラッチ	クラッチ回路系統の不良	
53	コントローラ	バッテリー電圧低下	※2
52		コントローラ内部異常	※1
54			※2
55			※3
12V 一定			※1

※1:フェールセーフリレー、モータ、クラッチを OFF

※2:モータ、クラッチを OFF (アシスト中止)

※3:モータ、クラッチ OFF リレー、モータ、クラッチ OFF

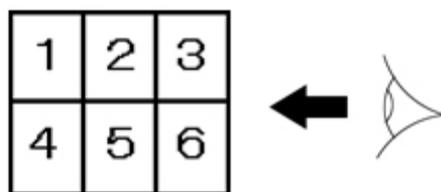
## 故障コードの消去

1. IG SW を ON にして下さい。

2. ダイアグカプラの3番端子と4番端子を4秒以上接続して下さい。

### ※注意※

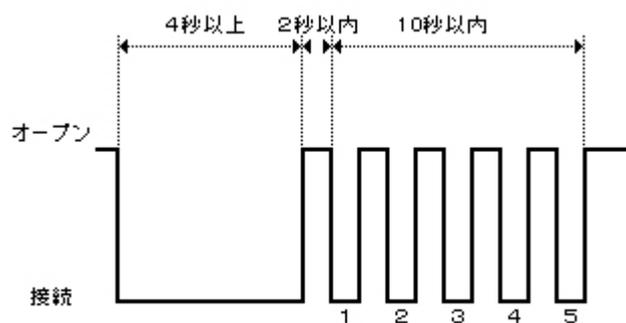
ダイアグカプラ(黒色6極)は助手席グローブボックス奥(グローブボックスは取り外して下さい)になります。



〈図:ダイアグカプラ〉

3. 次に、接続した3番端子、4番端子をオープンします。

オープンする時間は2秒間以内で行なって下さい。その後、10秒以内に接続→オープンを5回以上行い故障コードを消去します。



〈図:故障コード消去方法〉